

令和2年度一般会計補正予算（第4号）概要

〔一般会計〕

（単位：百万円、％）

区 分		予 算 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 般
令和 2 年度	現 計 予 算 額	1,019,195	189,379	50,812	225,484	553,520
	補 正 予 算 額（第4号）	75,968	25,385	—	50,798	▲215
	補 正 後 現 計 予 算 額	1,095,164	214,765	50,812	276,282	553,305

（注）精査の結果、計数に異同を生ずることがあります。
内訳は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

〔予算編成の考え方〕

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図るため、生活や仕事
の場での感染防止対策や医療提供体制の充実を図るとともに、制度融資資金枠の大幅な
拡充や地域公共交通の維持に向けた支援など、必要となる予算を計上

〔主な事業〕

- ・ 別紙のとおり

〔一般財源の内訳〕

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止等による事業費減額（▲272百
万円）やこれまで財政調整基金により対応してきた事業について、新型コロナウイルス
地方創生臨時交付金への充当整理等を行ったことにより、一般財源は減額

令和2年度一般会計補正予算（第4号）における主な事業

〔新〕は新規事業

（補正予算額：75,968百万円）

1 情報提供・共有 関連 (9百万円)

〔新〕・岩手らしい新しい生活様式発信事業費 9百万円〔商工労働観光部〕

地方移住への関心の高まりに対し本県の魅力を広く発信する、ポータルサイトの改修に要する経費

2 サーベイランス・情報収集 関連 (73百万円)

・結核・感染症サーベイランス事業費 69百万円【補正後現計114百万円】〔保健福祉部〕

PCR検査や疫学調査のために必要な資器材や備品等の整備に要する経費

・感染症等健康危機管理体制強化事業費 4百万円【補正後現計8百万円】〔保健福祉部〕

いわて感染制御支援チーム（ICAT）の活動に要する経費

3 まん延防止 関連 (3,461百万円)

・情報化設備整備費 806百万円【補正後現計1,087百万円】〔ふるさと振興部〕

感染防止と行政機能維持のための在宅勤務体制強化に係る機器調達等に要する経費

〔新〕・特定非営利活動法人感染症対策支援事業費 54百万円〔環境生活部〕

NPO法人が行う感染症拡大防止策に対し、1法人あたり10万円を上限に支援するほか「新しい生活様式」に対応した活動への転換の支援に要する経費

・生活衛生営業指導センター経営指導事業費補助 7百万円【補正後現計31百万円】〔環境生活部〕

感染拡大防止のため、飲食店や理容業等生衛業者に対する業種別ガイドラインの周知や指導等に要する経費

・介護サービス事業所等利用再開支援事業費補助 781百万円【補正後現計796百万円】〔保健福祉部〕

在宅サービス事業所等によるサービス利用休止中の利用者への利用再開支援、感染症対策徹底に向けた環境整備に要する経費に対する補助について、所要額を増額

・介護サービス事業所等感染症対策継続事業費 1,236百万円【補正後現計2,403百万円】〔保健福祉部〕

介護サービス事業所における感染症対策に係る物品の購入、研修の実施等に要する経費に対して行う補助について、所要額を増額するとともに、今後備えて県において消毒薬、マスク等の衛生用品を備蓄

・児童養護施設等衛生用品緊急調達事業費 227百万円【補正後現計292百万円】〔保健福祉部〕

児童養護施設等における個室化改修、感染症対策の徹底等のかかり増し経費に対する補助について、所要額を増額

4 医療等 関連 (15,469百万円)

・新型コロナウイルス感染症対応慰労金給付事業費 3,618百万円【補正後現計9,039百万円】

〔保健福祉部〕

医療機関の医療従事者や職員、障害者支援施設や介護施設で利用者と接する職員に対する慰労金（1人5万円～20万円）や必要な事務費を増額

[新]・医療的ケア児等オンライン診療体制構築事業費 10 百万円〔保健福祉部〕
医療的ケア児等が通院している医療機関に対するオンライン診療の導入に要する経費

[新]・医療的ケア児等感染症対策支援事業費補助 110 百万円〔保健福祉部〕
主な介護者が感染し入院が必要な場合に、在宅でケアを受けることができない医療的ケア児等を、短期入所事業所で受け入れるため必要となる経費を補助

・感染症等健康危機管理体制強化事業費(新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費)
8,838 百万円【補正後現計 9,616 百万円】〔保健福祉部〕
感染拡大に備え必要な病床を確保する医療機関に対し、病床確保に要する経費を補助

・新型インフルエンザ患者入院医療機関等設備整備費補助 1,900 百万円【補正後現計 3,262 百万円】
〔保健福祉部〕
重点医療機関等が行う設備整備に要する経費を補助

[新]・ビッグデータ活用による健幸づくりいわてモデル構築事業費 75 百万円〔保健福祉部〕
PHR（パーソナルヘルスレコード）の導入とスマホビッグデータを活用した実証実験等に要する経費

・看護職員確保対策費（看護師等養成所運営費補助） 4 百万円【補正後現計 136 百万円】〔保健福祉部〕
民間看護師等養成施設における遠隔授業導入に要する経費を補助

・看護師養成所学習環境整備事業 2 百万円【補正後現計 5 百万円】〔保健福祉部〕
県立看護師養成施設における遠隔授業導入に要する経費

・県立病院等事業会計負担金 349 百万円【補正後現計 23,067 百万円】〔保健福祉部〕
県立病院等事業会計に対する負担金（病棟整備やオンライン診療等デジタル化の推進に要する経費）

5 教育 関連 (1,299 百万円)

・県立学校 ICT 機器整備事業費 282 百万円【補正後現計 618 百万円】〔教育委員会〕
学校の臨時休校等における家庭学習の支援等のための県立高校への貸与用タブレット等の整備に要する経費

[新]・総合教育センター ICT 機器整備事業費 30 百万円〔教育委員会〕
学校の臨時休校等におけるオンライン学習等を実施するための教員の研修環境の整備に要する経費

[新]・校舎大規模改造事業費 1,414 百万円〔教育委員会〕
県立高校の普通教室等へのエアコン整備に要する経費

6 経済・雇用対策 関連 (55,566 百万円)

[新]・新型コロナウイルス感染症対策市町村総合支援事業費補助 2,000 百万円〔ふるさと振興部〕
市町村が実施する感染症の影響に伴う地域経済の回復等の対策事業に要する経費に対する補助

[新]・三陸鉄道運行支援交付金 190 百万円〔ふるさと振興部〕
三陸鉄道に対して、安全・安定した運行水準の維持を支援するための交付金を交付

- [新]・いわて銀河鉄道利用促進協議会負担金 15 百万円〔ふるさと振興部〕
I GRの利用促進事業を展開するための利用促進協議会に対する負担金
- [新]・いわて銀河鉄道運行支援交付金 170 百万円〔ふるさと振興部〕
I GRに対して、安全・安定した運行水準の維持を支援するための交付金を交付
- [新]・バス事業者運行支援交付金 211 百万円〔ふるさと振興部〕
乗合バス事業者に対して、安全・安定した運行水準の維持を支援するための交付金を交付（1台当たり30万円）
- [新]・タクシー事業者運行支援交付金 111 百万円〔ふるさと振興部〕
タクシー事業者に対して、安全・安定した運行の維持を支援するための交付金を交付（1台当たり5万円）
- [新]・交通系ICカードシステム整備費補助 99 百万円〔ふるさと振興部〕
乗合バス事業者のキャッシュレス決済を促進するため、ICカード導入に要する経費の一部を補助
- [新]・いわて文化芸術活動支援事業費補助 20 百万円〔文化スポーツ部〕
県内の文化芸術団体等の活動継続・再開支援に向けた取組に要する経費に対する補助
補助率2/3、上限150万円
- [新]・文化イベント等映像配信事業費 7 百万円〔文化スポーツ部〕
新しい生活様式に対応するため、デジタル技術を活用した取組（リモート出演・オンライン鑑賞等）の実施に要する経費
- [新]・スポーツ大会等映像配信事業費 4 百万円〔文化スポーツ部〕
新しい生活様式に対応するため、大会映像等のリモート配信に必要な機材の整備に要する経費
- [新]・いわて移住・定住促進事業費 59 百万円〔商工労働観光部〕
地方移住希望者等への直接的な情報発信や首都圏でのPRを実施するほか、企業のオンラインを用いた採用活動等を支援
- ・新型コロナウイルス感染症対策オンライン就職支援事業費 3 百万円【補正後現計5 百万円】
〔商工労働観光部〕
オンラインによる企業説明会を開催し、企業の求人及び学生の就職活動の支援に要する経費
- [新]・高校生等県内就職応援事業費 17 百万円〔商工労働観光部〕
未内定の高校生と県内企業との合同企業面接会やオンライン等による企業説明会の実施に要する経費
- ・新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金 15,350 百万円【補正後現計26,250 百万円】
〔商工労働観光部〕
感染症対策資金の貸付に要する経費（貸付枠を200億円から500億円へ増額）
- ・新型コロナウイルス感染症対策資金保証料補給補助 84 百万円【補正後現計115 百万円】
〔商工労働観光部〕
感染症対策資金の貸付枠拡大に対応し、保証料補給に要する経費を増額

- ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金貸付金 35,150 百万円【補正後現計 78,750 百万円】
〔商工労働観光部〕
 感染症対応資金の貸付に要する経費（貸付枠を 800 億円から 1,500 億円へ増額）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金保証料補給事業費 282 百万円【補正後現計 300 百万円】
〔商工労働観光部〕
 感染症対応資金の貸付枠拡大に対応し、保証料補給に要する経費を増額
- [新] ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金積立金 962 百万円〔商工労働観光部〕
 後年度の感染症対応資金貸付金等の利子及び保証料補給に要する経費を基金に積立
- [新] ・ いわて働き方改革加速化推進事業費(テレワーク導入推進事業費補助) 105 百万円〔商工労働観光部〕
 企業のテレワークの導入を促進するため、環境整備に要する経費を補助
 補助率 2/3、上限 200 万円
- [新] ・ いわて食のオンライン商談拡大事業費 6 百万円〔商工労働観光部〕
 事業者の販路拡大のため、オンライン商談の実施等に要する経費
- ・ 観光宿泊施設緊急対策事業費 550 百万円【補正後現計 2,687 百万円】〔商工労働観光部〕
 10 月以降、宿泊料助成を増額（2,000 円を 3,000 円に増額）するほか、宿泊料助成の対象を東北・新潟からの宿泊者に拡大
- [新] ・ いわての新しい観光推進事業費 19 百万円〔商工労働観光部〕
 地域の観光関係事業者が連携した、付加価値の高い旅行商品造成・販売の支援に要する経費
- ・ 県産農林水産物販売促進緊急対策事業費 19 百万円【補正後現計 34 百万円】〔農林水産部〕
 需要が減退している県産農林水産物について、インターネットを活用した販売促進の取組等の拡大に要する経費
- [新] ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金積立金 86 百万円〔農林水産部〕
 農業経営負担軽減支援資金等の後年度の利子補給に要する経費を基金に積立
- ・ 肥育経営生産基盤強化緊急支援事業費補助 13 百万円【補正後現計 66 百万円】〔農林水産部〕
 肥育素牛導入（1 頭当たり 1 万円）の支援に要する経費を増額
- ・ 肥育牛経営体質強化体制整備事業費 22 百万円【補正後現計 25 百万円】〔農林水産部〕
 飼料分析及び肉質分析を実施するため畜産研究所等の分析体制の強化に要する経費
- [新] ・ 肉用牛肥育経営安定対策緊急支援事業費補助 171 百万円〔農林水産部〕
 肉用牛肥育経営安定交付金制度において、生産者積立金から交付されるべき交付金の一部（3/8）を補助
- ・ 県産木材等需要創出緊急対策事業費 45 百万円【補正後現計 80 百万円】〔農林水産部〕
 県産木材の利用促進を図るため県有施設に県産木材製品を配置するほか森林公園等に木製テーブルを設置

- [新]・地域基幹産業サプライチェーン等再構築事業費 4百万円〔復興局〕
水産加工業の経営改善の取組の支援に要する経費

7 その他

(364 百万円)

- ・動物愛護管理推進事業費 3百万円【補正後現計 7百万円】〔環境生活部〕
感染者が飼育するペットの一時預かりのため、保健所において必要な資材の購入に要する経費
- ・管理運営費（指定管理） 107百万円〔各部〕
感染症の影響により利用料金収入の減少等が発生している指定管理施設の維持に要する経費

8 新型コロナウイルス感染症の影響で減額となる事業

(▲272 百万円)

- ・グローバルネットワーク推進事業費（南米移住者等交流活動支援事業費） ▲19百万円【皆減】
〔ふるさと振興部〕
ピラボ岩手県人会 60 周年記念式典の中止に伴う補正
- ・体育大会開催、派遣事業費ほか 4 事業 ▲173 百万円【補正後現計 20 百万円】〔文化スポーツ部〕
国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の延期等に伴う補正
- ・全国植樹祭開催準備費 ▲17 百万円【補正後現計 6 百万円】〔農林水産部〕
全国植樹祭の開催年延期等に伴う補正
- ・体育連盟強化事業費補助 ▲39 百万円【補正後現計 40 百万円】〔教育委員会〕
全国高等学校総合体育大会、全国中学校総合体育大会の夏季大会中止に伴う補正